

扉ユニット式制御盤

短納期対応！ 柔軟な変更対応！

操作スイッチ・表示ランプを
単位装置毎にユニット化！

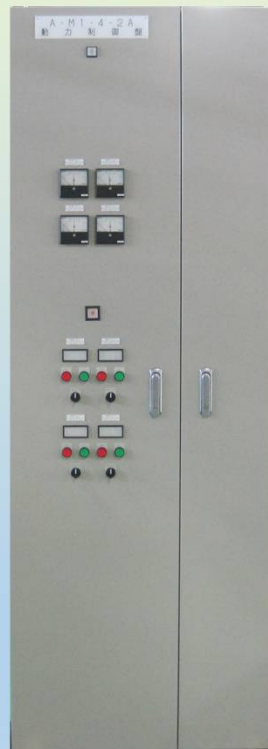


- ・回路を他の盤に移動したい
 - ・ランプやメータを増減したい
 - ・納入盤に回路を増減改造したい
 - ・制御を変えるのでスイッチを増減したい
- このような要望にも迅速な対応が可能です

扉の変更がカンタン

従来の制御盤

回路の増減に対して扉を再製作していたため
その分、納期・費用が掛かりました



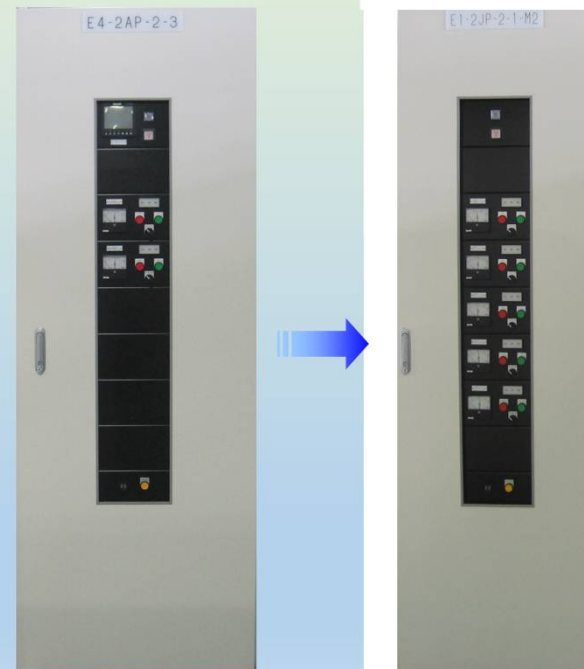
扉再製作の工程



扉ユニット式制御盤

回路変更があっても
扉はユニットパネルを交換するだけ
1面取消のような大きな変更があっても
扉を他の盤に流用できるためコスト削減が可能です

変更が発生しやすい大規模な設備に適しています



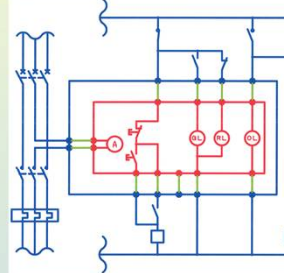
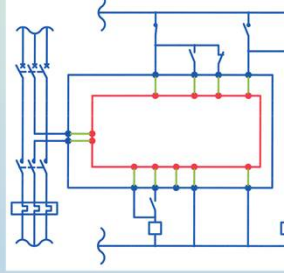
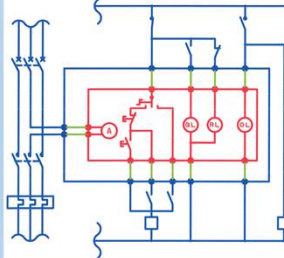
ユニットパネルの交換

盤内機器と扉機器の接続部にブロック端子台を使用
ブロック端子台はレバー操作で簡単に脱着可能なため
盤を据付後の改造にも適しています



ユニットパネルの交換例

盤内 ユニットパネル 扉への配線 ●・・・ブロック端子台

 ①「手動」の回路を 「手動－停止－自動」の回路に 変更します	
 ②ブロック端子台を外し ユニットパネルを外します	
 ③盤内を変更したらユニットパネルを 取付して完了です 扉への配線は予め余裕を持った 本数で接続しています	

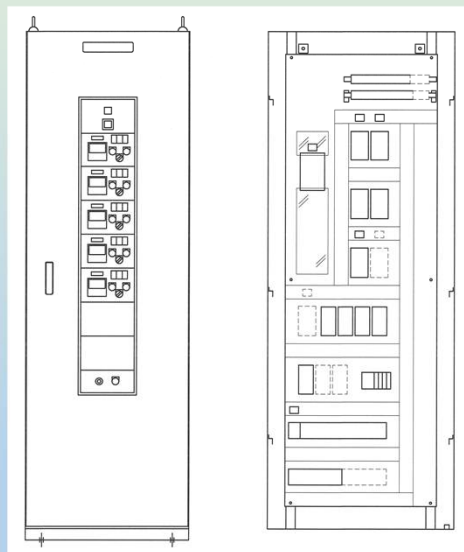
回路増・容量アップを想定した設計

将来機器スペース

盤寸法を大きくしない範囲で将来用の機器スペースを設けます

- ・扉の将来追加スペース
- ・盤内の将来追加スペース

これらのスペースをなるべく同等に設け
回路の追加に柔軟な対応を致します



扉に2回路分の取付スペースがあれば
盤内にも2回路分のスペースを設けます

容量アップを想定した配線サイズ

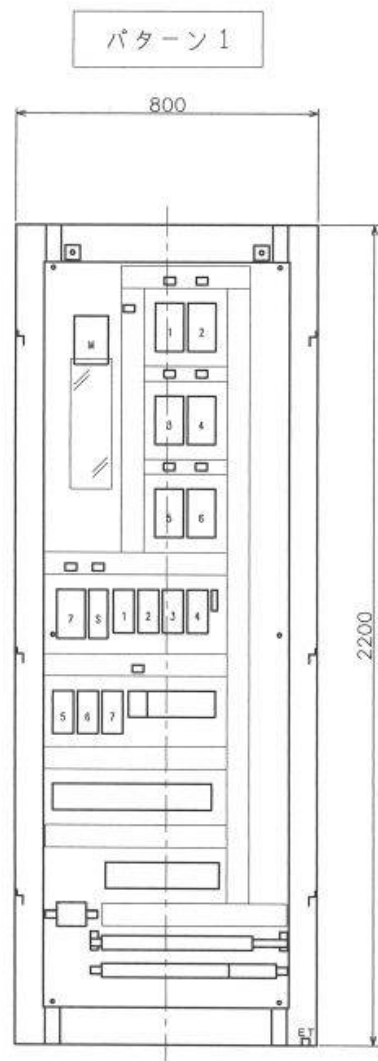
盤内配線はワンランク上の配線サイズを選定しております
電流計への配線もCTを用いて2SQで統一しており
容量アップ時も配線し直す必要がありません

200V電動機

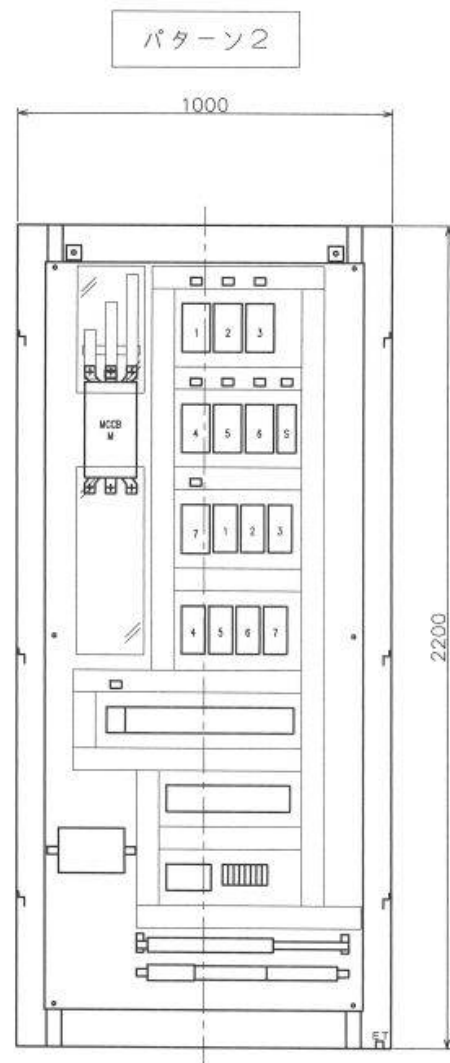
容量 (kW)	電線サイズ (SQ)	CTの有無
0.2～1.5	2	無し
2.2	3.5	有り
3.7、5.5	8	
7.5～15	22	
18.5	38	
22、30	60	
37	100	
45、55	150	
75	200	

400V電動機

容量 (kW)	電線サイズ (SQ)	CTの有無
0.2～2.2	2	無し
3.7、5.5	5.5	有り
7.5～15	8	
18.5、22	14	
30	22	
37	38	
45、55	60	
75、90	100	
110、132	150	

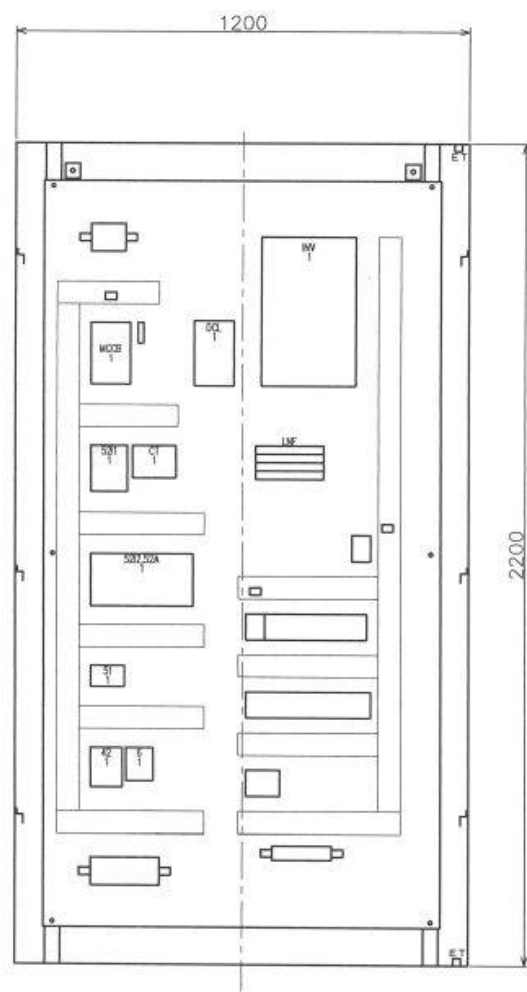


主幹50AF以下
直入7回路(2.2kW)



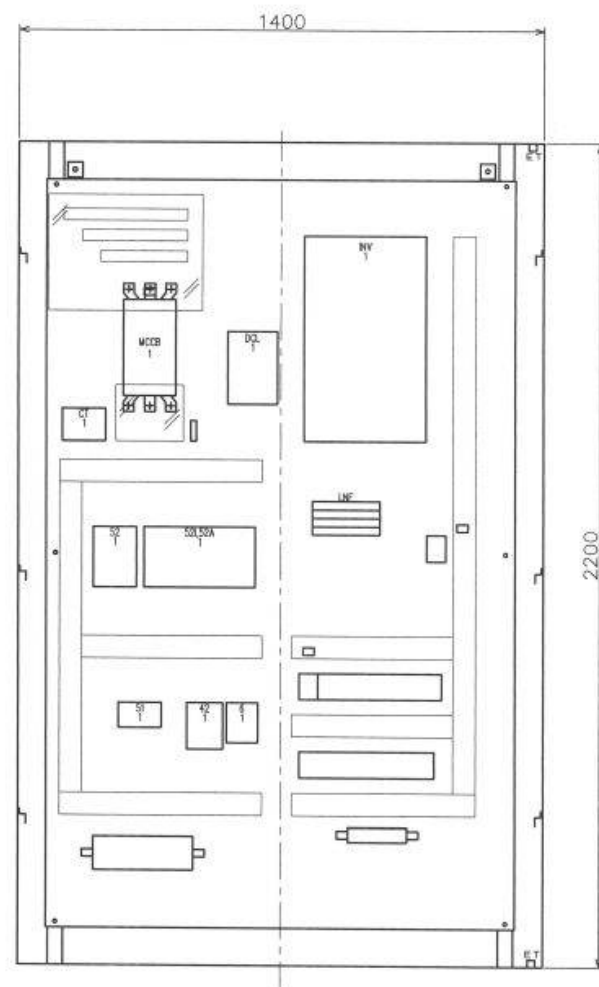
主幹225・400AF
直入7回路(5.5kW)

パターン3



INV 1回路
(22kW以下)

パターン4



INV 1回路
(30, 37kW)